

京都府立堂本印象美術館 ロビーコンサート

馬頭琴 & ホーミー ～夏の草原の調べ～

8月21日(日)

【演奏曲目】

「スーホの白い馬」

「一万頭の馬の競馬」

「走る駱駝」など

13:30～/14:30～

場所=1階ロビー (要入館券)



演奏=福井則之 (馬頭琴・ホーミー奏者)

大学生の時にモンゴル国立民族歌舞団の演奏を聴いて感動し独学でホーミーと馬頭琴を始める。

2004年から中国内モンゴル自治区にある内蒙古大学芸術学院に留学。馬頭琴を専攻。若手実力演奏家ハズバグンから指導を受ける。ホーミーは内モンゴルで最も著名なホーミー歌手フグジルトウ氏に師事。

帰国後は主に京都で演奏活動や馬頭琴、ホーミー教室を始め、自らが主催する京都馬頭琴楽団 厩としても各地で演奏や楽器体験のワークショップを行う。

【最近の活動】モンゴル博物館「トワイライトライブ」、平成の京町家コンサート(京都市)、御池ワールドミュージックフェスティバル、浜松市楽器博物館、京丹後市立図書館、KBS京都(ラジオ)、鶴林寺(加古川市)、こども未来館、美山かやぶき音楽祭 他、小学校、社寺など多数演奏

【モンゴル音楽】

有名な馬頭琴やホーミーの他に、オルティンドーという日本の馬子唄や遠分によく似た民謡や、リンベ(横笛)、ヤタク(琴)、シャンズ(三味線)など日本のものと非常によく似た楽器があります。そしてアジアに共通する体の曲線の美しさを体現した舞踊があります。

【馬頭琴】

モンゴルを代表する二弦の撥弦楽器。糸巻き部分に馬の彫刻が施してあり「草原のチェロ」とも呼ばれるが、ハーモニクスの多用や激しい弓さばきで奏法は独特のものがある。

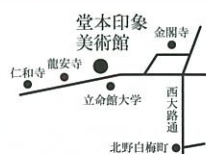
【ホーミー】

モンゴル国のアルタイ山脈のあたりに伝わる喉を使う歌唱法。一人の歌い手が同時に倍音という効果により二つの音をだすという不思議な歌い方で、モンゴルの自然界にある様々な音を表現しているといわれている。

京都府立

堂本印象美術館

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL 075-463-0007 FAX 075-465-3099
URL <http://insho-domoto.com> Facebook <http://www.facebook.com/InshoDomoto>
市バス「立命館大学前」徒歩1分



9月22日(日)まで開催中

堂本印象生誕125年

「鮮やかな筆の技—信貴山成福院の襖絵—」

同時開催 京都現代作家展

「箱崎 睦昌 仏観想」(～8/6)、「雲丹亀利彦 エスキースからの展開」(8/9～9/22)